

公民館だより

No. 82

ひがしの

2004. 5.

人口 1,833 人
(男) 900 人
(女) 933 人
世帯数 540 戸
(H16.4. 1 現在)



保古の湖付近航空写真（手前は根の上湖）

保古の湖水環境整備事業進む

保古の湖は大正14年に築造され80年あまりを経過した東野の名所の1つであります。

湖の周辺は自然植物の豊かな宝庫であり、つい周辺を歩いてみたい気がします、しかし僅かな小道がある程度で簡単には入れられるところではなかった。

そんな願いがようやく叶えられることとなりました。

平成12年度から始った県営農村環境整備水環境整備型「保古の湖」事業です。

全体事業は約2,5Kmの管理用歩道と所々に展望所（東屋）をつくるものであり、昨年度までに1.524mの管理歩道と東屋1棟が建設されました。

今年度は管理歩道が300m（茄子川地内、源根道付近～湿地帯越）予定されており、これにより全体の50%の進捗（事業費ベース）となります。

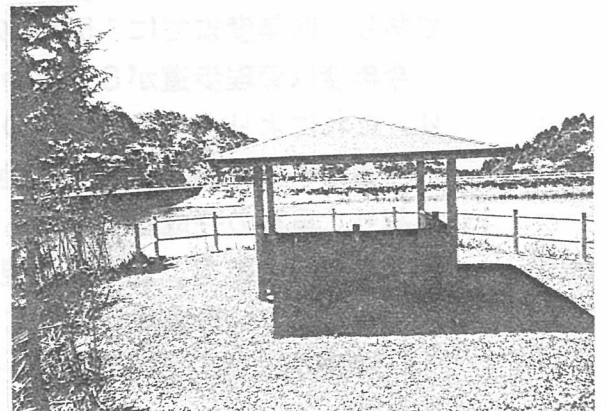
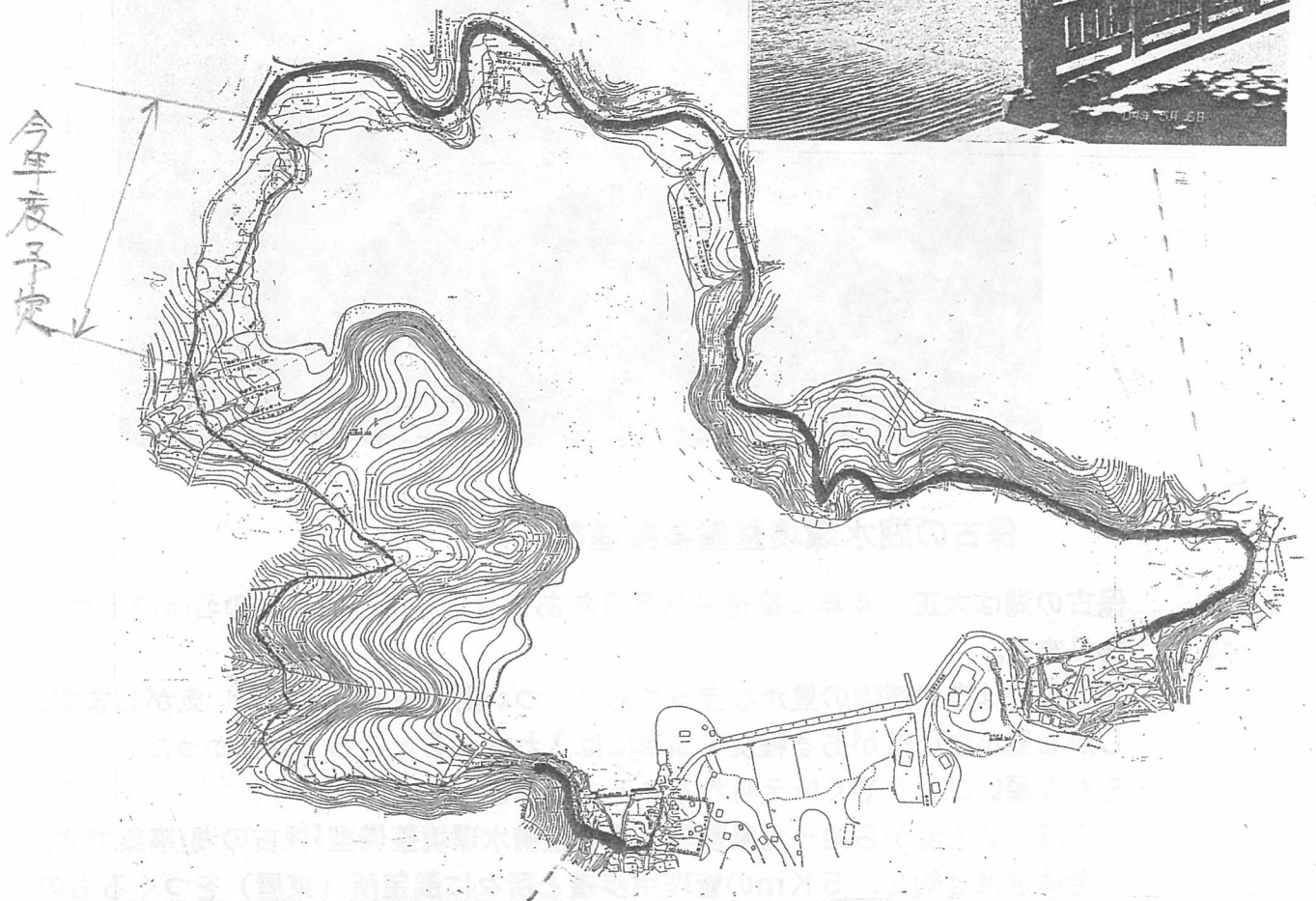
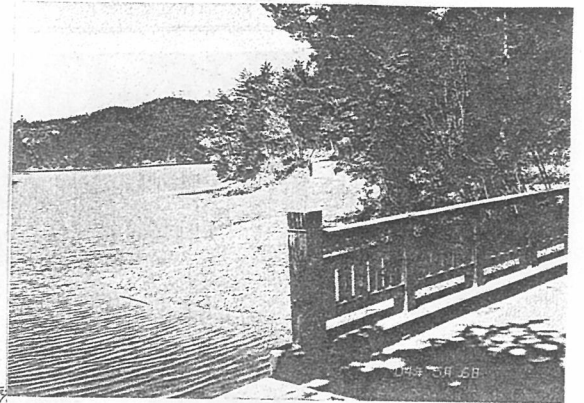
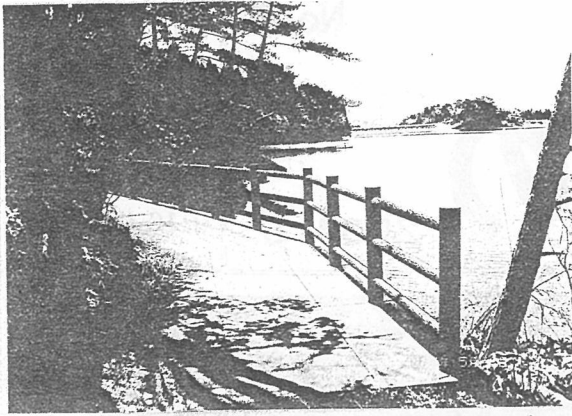
今後も事業は順次進められ地域にとっても、まさに活性化の一助となる事業であり、早期の完成が待たれるところです。

初夏の山歩き、新しい発見も一興です、家族、グループでの手ごろな山歩きコースです。是非歩いてみては————。

「保古池の水は潤う百町歩」——（東野村のいろは歌より）

保古の湖事業

— 施工済歩道
— 計画歩道



振興会より

(お知らせとお願い)

東野開発振興会長 伊藤 明

四月二十八日に総会を実施しました。参加者は五十三名でしたが、規約改正については、様々な意見が出され、振興会としてそれを受けて役員会を開催し、次のような話し合いをお願いをすることにしました。

〔総会で提議した「規約改正」についての意見・質問に対しての役員の感想・反省点〕

- ・ 振興会が東野のためにあまり役に立っていないかの意見はショックであった。自分たちとしては、それなりに努力はしているつもりであった。
- ・ 振興会は何をやっているかみていないと言われたが、ある程度情報は流しているつもりだし、例年実施している事業は実行委員として主導的役割を果たしているつもりである。
- ・ 事業計画案が提示されていない指摘があったが、歴代の振興会が（予算案の中にその計画がもりこまれているのか）計画案を設定していないのでその通例に従った。役員会では、やはり議案の中に入れた方がよいとの意見もあったか？会長のあいさつの中に入ればよいということにした。やはり、事業案を次年度から計画するようとり図らうことにする。
- ・ 総会への参加者の少ない事実を真摯にうけとめて、議論するべきだ。活性化へもつながることである。
- ・ 規約改正するなら、もっと意見を聞いて、それらを集約して再考していきたい。
- ・ 活性化のためには、役員選出の方法に問題があるとの提言を受けてたつた。今後、更に方策を講じていきたい。

〔規約改正についてのお願い〕

- 一、各自治会長に振興会役員から「総会資料」と「規約改正の要点」の回覧依頼を五月中旬までに致します。
 - 二、その回覧資料をもとに各自治会でできるだけ「規約改正」について意見交流（決定でなく）をしておいてください。
- ※次回の自治会長会（七月下旬）までに話し合っておいてくださると、意見の集約が可能なので、お願いします。
- ※各地区の担当理事（役員）だけでなく、他の理事（役員）にも説明などの要請があれば出席しますので、振興会事務局（TEL 26・1817）の方へご連絡ください。

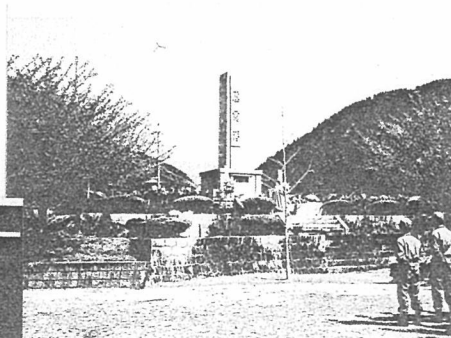
平成 15 年度事業の一部



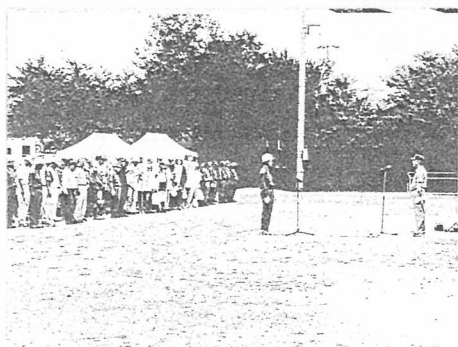
運動会



敬老会



慰霊祭



防災訓練



行政視察

寄稿

交通事故を無くしましょう

交通安全協会東野支部長 渡辺正昭

キーンとブレーキの音。一瞬目をつむり胸をなでおろす。こんな経験のある人は多いと思います。言いふされた言葉ですが、正に「注意一秒 怪我一生」常時運転をしている人は常に事故と背中合わせの毎日です。

事故は他人事と思いますが、災難はいつ我が身にふりかかるかも知れません。運転は常に緊張して行いたいものです。

安全協会の役をいただいてから早くも一年がたちました。以前は自分だけ注意しておればよかった事が役についてからは、道路標識の具合、道路白線の磨耗度、通行人（特に老人、学生）等の歩行者にたいする運転は今までは違った角度で見ようになり、今後はこの様な運転を続けられれば事故をおこす確率は少なくなると思う様になった今日此のころです。

皆さんにはご存じの事とおもいますが、交通安全協会は主として次のような事をおこなっています。

毎月一日、十五日の交通街頭指導、カーブミラーの清掃、道路の清掃（章刈り）警察の交通課と連携して安全対策等々。

昨年度も安全運転コンテストがあり一チーム三名で年間の無事故（減点違反が対象）競技があり東野からも二チーム（六名）が参加しました。参加者六名は年間無事故、無違反で、無事故証をいただきました。

又毎年五月には警察および安全協会職員による小学生の交通指導教室も開催して無事故の東野をめざして努力している日です。

今年に通学路の一部変更による道路標識立替をPTA、先生、安全協会役員で行いました。

黄色の地に赤字の看板です。

皆さん、子供は国の宝です。くれぐれも大切にしましょう。

恵那市消防団第3分団長となつて

恵那市消防団第三分団長 渡辺裕之

このたび平成16年度、17年度の2年間、伝統ある東野の消防分団長を受けさせて戴く事となりました。

この命を受ける事に対し、正直私のような微力な者でこの大役が務まるかが、家族は元より私の心中、不安な部分も多々ありました。しかし、お誘いをしてくれた顔を見ればどの団員も私の現役時代の良き後輩、今の若い世代の東野のリーダー達でありました。この諸君からの誘いならこの大役を受けさせて戴く事を光栄と感じ、家族の理解も得て生まれ育った東野の為に今出来る事はこれだと信じ、団長を受ける決意をいたしました。

現在の東野消防団は、総員54名からなる組織であります。この組織の運営も現在の時代には、田舎くさくて、全ての若者に理解してもらえる様な環境ではありません。それでもこの54名は、消防団活動で目指す物は皆同じであります。確かに最近、良き時代だと思ふ事が中々出来ません。面倒な事は関わりたくない、見て見ぬ振りをする、自分だけが良ければいい、確かにその方が楽に違いないです。でもそれではせっかく生まれきた甲斐が無い気がします。せっかく東野に住んでる甲斐が無い気がします。54名が一致団結し、それを支える家族がいて、そんな54名を応援してくださる消防まとい会・消防OB・消防本部の諸先輩方、こんな団体は私の知る限りこの消防でしかありません。幸せを感じてもいいと自負しています。いつでも東野消防団は、東野の生命・財産を守り続け、恵那市の中の東野を大事にしていくことを約束いたします。何か気付いた点がありましたら、いつでも出来る限り皆様のお役に立ちたいと全団員常に心に命じている所存で有りますので、遠慮無しに申し出て下さい。

終わりにりましたが、この伝統ある東野消防団は、今年18年ぶりに操法大会で優勝する事を目指し日々訓練に精進しています。色々と東野の皆様方にはお世話になりますが、いい結果報告ができる事を祈念し、慥越ではありませんが団長就任の挨拶に変えさせていただきます。

東野地域各種団体役員名簿

平成十六年度の団体役員の方々です。
ご苦勞様です、よろしくお願いします。

(今年度改選分のみ)

四月末決定分)

環境委員	交通安全委員	体育委員	青少年育成推進員	自治会長	自治会名
藤井 宣勝	光岡 則昌	三宅 和示	藤井 宣勝	藤井 宣勝	小 の 川
深津 幹雄	篠原 周夫	畑村 宏記	深津 幹雄	深津 幹雄	上浜井場
杉本 純一	西尾 正義	杉本 純一	杉本 純一	杉本 純一	下浜井場
伊藤 次二	鈴木 克美	鈴木 浩一	伊藤 次二	伊藤 次二	中 辻
永野 晋	足立 和実	堀江 佳徳	伊藤 正信	伊藤 正信	下 辻
林 直行	森 一興	堀 秀平	林 直行	林 直行	白 坂
土方 成美	土方 康彰	藤井 博史	土方 成美	土方 成美	北 万 場
西尾 彰洋	西尾 敏博	土方 正和	西尾 彰洋	西尾 彰洋	南 万 場
菊池 靖	伊藤 和平	光岡 雅康	菊池 靖	菊池 靖	井 の 下
田口 義子	長谷川 勝美	渡辺 一正	伊藤 善章	田口 義子	小 麦 田
鷹見 裕之	梶田 勝	足立 幸夫	足立 幸秀	鷹見 裕之	北 中 切
安江 勝己	内木 義則	長谷川 雅一	内木 義則	内木 義則	南 中 切
古川 正紘	千藤 勝紀	渡辺 裕之	古川 正紘	古川 正紘	向 島
千藤 一二三	奥野 栄司	岡本 勝英	鈴木 耕司	鈴木 耕司	下 沢
遠藤 龍美	渡辺 昭人	水野 登樹夫	遠藤 龍美	遠藤 龍美	中 島
伊藤 時美	千藤 富久	平井 仁	伊藤 時美	伊藤 時美	南天王前
千藤 徳男	伊藤 和成	伊藤 秀幸	伊藤 博章	千藤 徳男	北天王前
長谷川 泰文	千藤 智秀	古山 良人	長谷川 泰文	長谷川 泰文	上 染 戸
古山 敦啓	藤田 政直	千藤 進	古山 敦啓	古山 敦啓	下 染 戸
河村 和直	小木曾 弘明	長谷川 和利	鈴木 栄二	鈴木 栄二	南 大 門
渡辺 五月	三尾 元則	市川 真一	渡辺 五月	渡辺 五月	上 大 門
伊藤 常光	藤田 典義	長谷川 高之	伊藤 常光	伊藤 常光	下 大 門
伊佐地 明人	西尾 重政	西尾 英治	伊佐地 明人	伊佐地 明人	宮 の 前
田口 忠	渡辺 正昭	伊藤 隆史	田口 忠	田口 忠	北 山

東雲連合会

連合会会長

副会長

婦人部長

書記・会計

第一東雲会長

第二東雲会長

第三東雲会長

第四東雲会長

第五東雲会長

第六東雲会長

消防団第3分団

分団長

副分団長

部長

班 長

篠原佳昭

神谷昭吾

千藤南海

千藤健逸

篠原佳昭

西尾美重子

三浦 進

伊藤靖代

千藤健逸

伊藤光恵

渡邊俊雄

市川恵美子

篠原更生

千藤南海

神谷昭吾

桐山いそ子

渡辺裕之

千藤 稔

光岡寿欣

市川直樹

長谷川良司

西尾文昭

千藤浩孝

渡辺俊一

三宅和示

足立光隆

依馬博文

岡本 崇

市川崇彦

加藤浩泰

古川暉久

遠藤美孝

渡辺浩樹

林 直行

古山卓也

伊藤暢敏

佐々豪治

市川智也

西尾泰俊

伊藤善秀

伊藤善尚

篠原正幸

足立伊公子

光岡則昌

遠藤龍美

伊藤正宏

三宅正美

渡辺成道

光岡則昌

西尾 猛

伊佐地明人

渡辺佳子

田口京子

伊藤善章

古山栄一

三尾元則

森川仲江

西尾重政

幼稚園保護者

会長

副会長

書記

会計

青少年育成会

副会長

組合長

テレビ共同受信組合

子ども育成会

あんなこと、こんなこと

3月末～5月上旬にかけての各種の式や総会が行われた。

3月23日 幼稚園終了証書授与式（卒園式）

9名のみどり組が卒園しました。2年前に、もも組に入った時からしてすっかり落ち着いて… 4月から1年生。2年間欠席無し1名、1年間欠席無し2名、みんなで拍手。

3月23日 ◆小学校修了証書授与式（卒業式）◆

15名が卒業。校長先生から野口清作少年（野口英世）の少年時代のお話を聞きました。いろいろな思い出と希望を抱いて中学生に…

4月 6日 ◆小学校入学式◆

11名の新入生。担任の伊藤先生に1人ひとり名前を呼ばれ、はっきり返事ができました。校長先生「花の種をあげます。どんな花が咲くか自分で、楽しみに育ててください。」

4月 9日 ◆幼稚園入園式◆

6名の可愛いもも組 園長先生のお話にはっきり「ハイ」「アリガトウ」と言えました。

4月28日 ◆振興会総会◆

53名出席、会長あいさつ…概要。

○自治会から出された各種要望事項扱いについて

○新火葬場（17年度建設）対応について

○振興会組織、規約改正について

○三大祭り（体育・文化・夏祭り）を…。

○市町村合併調印された

○その他年会費（15,000円）で

4月18日 ◆愛林碑祭典◆

東野生産森林組合主催で神事

◆慰霊祭◆

開発振興会、自治連合会主催、日清、日露、太平洋戦争で亡くなられた111柱の慰霊祭。

4月20日 ◆恵那市・恵南町村合併 住民説明会

50名参加——今年10月X日より新市となる

4月21日 ◆東雲会総会◆

140名出席 「今日も元気、明日も元気、みんな元気、笑って元気」

5月 1日 ◆東野生産森林組合総会◆

52名出席、総会終了後、懇談…組合長より提案…概要。

○天然林整備について ○恵那山荘の経営概要報告 ○各自治会より1名出して…

文芸

四月の作品から

花無山句会

（主宰

百才祝賀句会）

九枚の葉に護られて朴の花

鈴木抱風子

胡蝶欄日増し色増し古びけり

々

何処からか病む小庭へ花吹雪

足立いさむ

八十の爺も並びて甘茶汲む

市川茶山

花の宿「蓮月庵」の書を床に

市川芳子

独活の芽に肥たつぷりと靱圓い

伊藤道子

師を迎え今日の慶び春惜しむ

伊藤靖代

草耄る老に恋猫そばに臥し

西尾筍子

うたせ湯に桜の峽をながめつつ

西尾美恵子

たらの芽の庭で育てし夕の膳

土方ちかえ

鈴蘭を四隅に垂らし花御堂

松本はるか

借景は花無山に桜かな

千藤恵三

サークル短歌

走るなど忘れて久し片脚に

鈴木喜一郎

疼くものあり若さの剥離

花のみが夜空に浮きて桜なり

市川茂子

未来は尽きる現実におり

草を引く手甲に桃の花びらが

市川茂子

ひらりひらりとまつわりてくる

通夜を終え車中黙して帰宅せり

市川茂子

この娘を頼むと見舞の時に

市川茂子

自転車で桜吹雪の坂道を

赤尾翠夫

漕ぎ上がりたり苗木の城址

赤尾翠夫

葉桜の恵那峡公園遊歩道

赤尾翠夫

スミレヒメハギカタバミエビネ

赤尾翠夫

スミレヒメハギカタバミエビネ

赤尾翠夫

——保古の湖ものがたり——

(古老の記録、その他資料より)
保古山、保古の湖……東野で生まれ育った者には、遠足に、キャンプに、薪採りに、整地に、下刈りに……と誰もが想い出の地である。
ここにもこんな歴史がある。

正徳 五年(一七一五) 東野村と茄子川の境界の問題が生じ近隣の村を巻き込んだの騒動となる。

享保 三年(一七一八) 前記の件で江戸にて村の境の裁判が行われ、現在の境が確定。村の境の確定を記念して城ヶ峰神社を建立。

大正 四年(一九一五) 可知貫一氏(阿木出身)の呼びかけで、保古の湖溜池建設のための実施踏査。

大正 七年(一九一八) 村議会で坂本村との土地交換議決。

同 十年(一九二二) 東野耕地整理組合結成。
十年(一九二二) 保古の湖工事及び水路工事着工。

同 十一年(一九二二) 白坂地区開墾に着手。

同 十四年(一九二五) 保古の湖えん堤工事完成
(貯水量576,000トン)

昭和 初年 根の上高原に馬牧場始まる。

同 十年(一九三五) 保古の湖用水工事完了
(百町歩の開田)

同 二十五年(一九五〇) 藤下寿平氏保古の湖に居住

同 二六年(一九五一) 保古の湖かさ上げ工事は始る

同 ・ボート貸し出し始る。

・天然スケート場始る。

同 二七年(一九五二) 根の上にてキャンプ始る。

同 二八年(一九五三) 中津川駅から根の上高原まで国鉄バス開通。

同 二九年(一九五四) 中津川より根の上まで送電される。

同 三二年(一九五七) 恵那駅から根の上高原まで東鉄バス開通。

同 三三年(一九五八) 保古の湖かさ上げ工事は完成(貯水量758,000トン)。

同 三五年(一九六〇) 保古の湖にてキャンプ場(営業として)始る。

・周辺に売店でき始る。
同 三七年(一九六二) 保古の湖ユースホステルオープン。

同 三八八年(一九六三) 保古の湖スケート
同 四十年(一九六五) 保古の湖ワカサギ釣りにぎあう。

・東野地内に民宿広がる。
同 三九年(一九六四) 根の上湖完成。

同 四二年(一九六七) 小野川から保古の湖線市道から県道に。

同 四三年(一九六八) 同 市道から県道に。
同 四三年(一九六九) ユースホステルのペアレントに赤尾し着任。

同 四四年(一九七〇) 人工スケートリンク建設。

同 五一年(一九七六) 保古自然館オープン。

同 五五年(一九八〇) 国民宿舎恵那山荘オープン。

同 五八年(一九八三) 保古の湖にテニスコート、総合グラウンドオープン

同 五九年(一九八四) 保古の湖にゲートボート場オープン

同 六十年(一九八五) 同 花菖蒲園オープン

同 六十年(一九八五) 同 水上ワカサギ釣り、スケート場にぎあう。

・恵那山荘に風呂棟建築。
平成 二年(一九九〇) 保古の湖えん堤一部崩落。

同 三年(一九九二) 同 改修着工。

同 四年(一九九二) 同 完成

同 八年(一九九六) 恵那山マレットゴルフ場オープン。

同 九年(一九九七) 保古の湖ユースホステル休止。

同 十年(一九九八) 同 廃止。

同 十三年(二〇〇二) 旧売店等撤去

同 十三年(二〇〇二) 県事業にて「保古の湖水環境整備事業」着工。

同 十五年(二〇〇三) ゴヨウツツジ自生地
恵那市文化財指定(天然記念物)
(間違いご容赦)



変更場合があります。ご確認の上申込をして下さい。

休館日

6月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
	郷土料理	救命 パソコン		クラフト		わくわく
7	8	9	10	11	12	13
	Walking	救命 パソコン	フラワー	心晴歌 エアロビ	かな書道 子供料理	
14	15	16	17	18	19	20
		救命 パソコン		クラフト		
21	22	23	24	25	26	27
	Walking	マナー パソコン	藤	心晴歌 エアロビ	かな書道 子供料理	
28	29	30				
		救命				

7月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
				クラフト	かな書道	
5	6	7	8	9	10	11
	郷土料理		フラワー	心晴歌 エアロビ		
12	13	14	15	16	17	18
	Walking			クラフト	かな書道	
19	20	21	22	23	24	25
			藤	心晴歌		
26	27	28	29	30	31	
	Walking					

8月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
	郷土料理				かな書道	
9	10	11	12	13	14	15
	Walking		フラワー	心晴歌		
16	17	18	19	20	21	22
					かな書道	
23	24	25	26	27	28	29
30	Walking		藤	心晴歌		

19日＝第3月曜日：海の日

東野ホタル祭り

とき＝六月十二日（土）

（少雨決行）

夕七時から

ところ＝定蓮寺川

東野駅前付近

催し等＝子供おもちゃ販売

ジュース類販売

ホタル版画の体験

主催＝東野ホタル祭り実行委員会



「東野に残る書」の展示

中山道ひし屋資料館において

「家と里の教え～東野に残る書」が6月15日～7月11日まで展示されます。ご先祖様、郷土の先覚者、又東野に縁のある方、縁あって現在所持されている先輩等の書かれた、ことわざ、格言、家訓、名言等です。

今回は「書」に限定されており 一見地味ですが五體字類（楷書、行書、草書、隸書、篆書）の読み方、その意味も解れば面白く見られそうです。

20点ほど予定されております是非ご覧下さい

あとがき

○（今は五月になってしまったが）四月は新年度のスタート、年の変わる正月、元旦と同じようにある意味では新しいスタートであります。

市民講座も新しくスタートする、この市民講座、社会教育法によると公民館の事業に「定期講座を開設すること」とある……無論その他にも諸々の事業があるが……この講座の選定が難しい、まず

① 地区館であるがゆえ東野の人に参加していただけるもの

② 男性の参加しやすいもの

③ 小中学生の学校週五日制（土日休校）対応
こんなことから今回新しく五つの講座を取り入れ十三講座でスタートしてみました。

ちなみに今回の講座申込状況を分析してみると申込総数一七七名であるが、東野の人は五七名（内男性三名）と東野の人が少ない。

理由は「働くことも終え今更……」「他人と同じことはどうも……」。又小学生には土日曜日は家庭で遊んだり、お手伝いをしたり……であろうか。

折角の生涯学習の機会であるが……

少（わか）くして学べば壮にしてなし

壮にして学べば老いて衰えず

老いて学べば死して朽ちず

佐藤一斎「言志四録」の一節
今から二百年も前の教えである

（館長）